



## NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

### 主要な米経済指標の結果

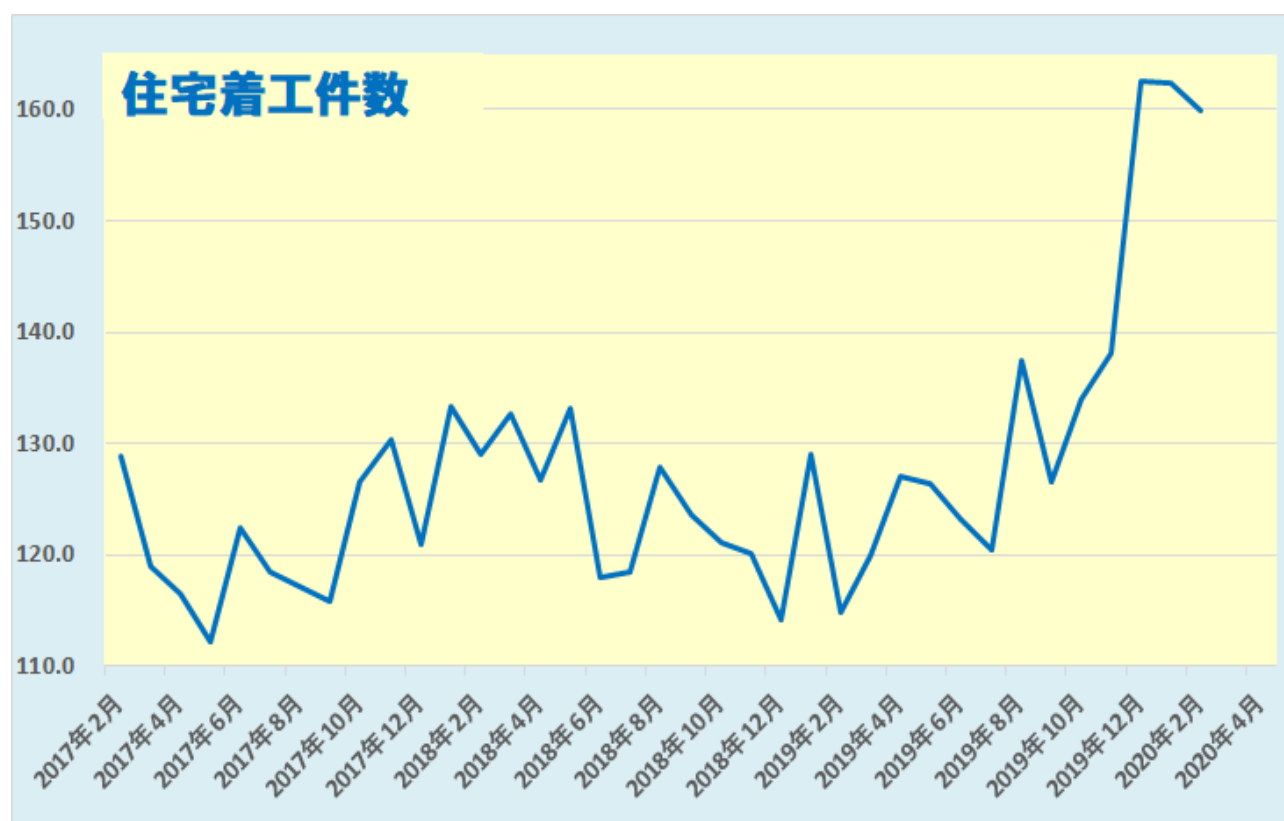
2 月住宅着工件数 159.9 万件（予想 150.2 万件・前回 156.7 万件⇒162.4 万件）

2 月住宅着工件数（前月比） -1.5%（予想 -4.2%・前回 -3.6%⇒1.4%）

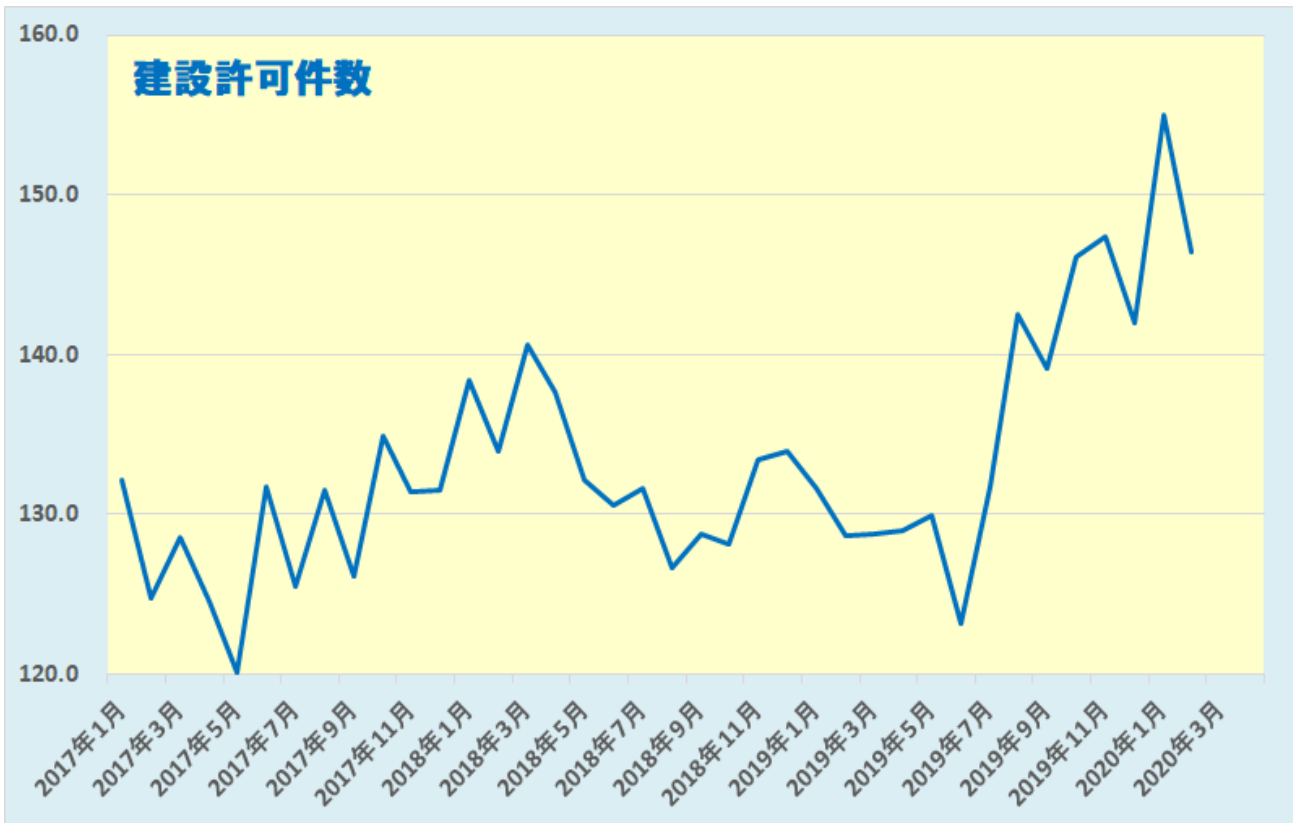
2 月建設許可件数 146.4 万件（予想 150.0 万件・前回 155.1 万件⇒155.0 万件）

2 月建設許可件数（前月比） -5.5%（予想 -3.2%・前回 9.2%）

2 月の米住宅着工件数は、前月比-1.5%となったものの、市場予想を上回った。前年比は+39.2%だった。住宅ローン金利の低下を背景に高水準を維持した。一戸建て住宅は+6.7%の 107.2 万件（前月 100.5 万件）、集合住宅は 52.7 万件（61.9 万件）。一方、着工件数の先行指標となる建設許可件数は前月比-5.5%の 146.4 万件だった。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大で景気後退懸念が強まっており、今後の米住宅市場の先行き懸念が台頭している。



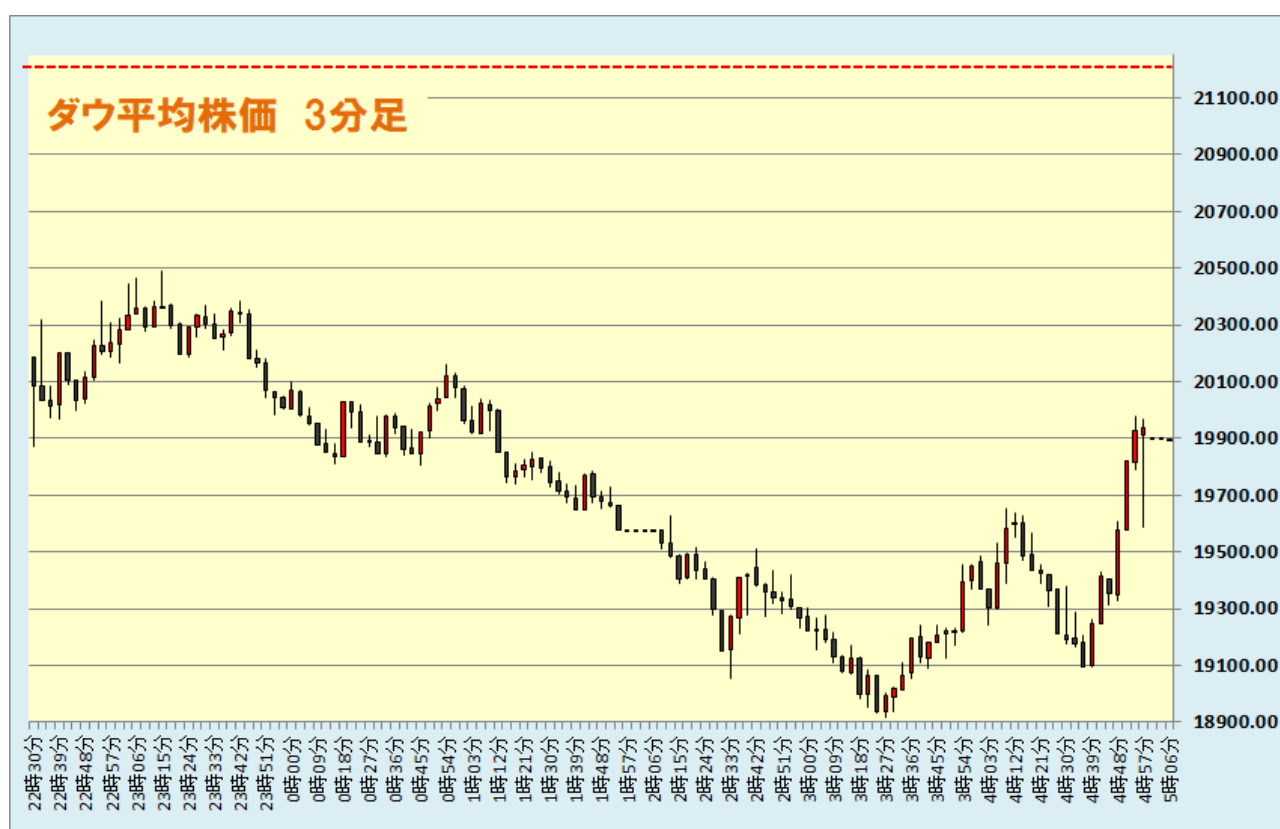
データを基に SBILM が作成



データを基に SBILM が作成

## 米主要株価指数が軒並み大幅下落

米株式市場では、米国の大規模な経済対策案が表明されたが、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからないことから、投資家の不安心理が増大し、主要株価指数は大幅下落となった。さらに、新型コロナウイルスの感染者が世界全体で20万人を超えたとの報道を受けて下げ幅を拡大する場面もあった。なお、この日もサーキットブレーカーが発動され、取引が一時停止となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比2319ドル安まで下落し、19000ドルを割り込む場面もあった。しかし、引けにかけては下げ幅を縮小して1338ドル安で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは344ポイント安で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	石油・ガス	-17.98%	1	シェブロン	-22.12%
2	金融	-11.04%	2	ボーイング	-17.92%
3	資本財	-7.35%	3	トラベラーズ	-15.27%
4	ヘルスケア	-6.45%	4	アメリカンエキスプレス	-14.82%
5	消費者サービス	-4.55%	5	ユナイテッドT	-14.48%

データを基に SBILM が作成

## ドルは主要通貨に対して上昇、ドル/円は 2/28 以来の高値

NY 市場では、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることを背景に、投資家のリスク回避の動きが優勢となった。その中で、逃避先としてドルが対欧州通貨やオセアニア通貨などに対して買われ、主要通貨に対するドル指数は 2017 年 4 月以来の高水準となり、1 日の上昇幅としては 2016 年 6 月以来の大きさとなった。ドルは、対円でも堅調な動きとなり、ドル/円は一時 108.65 まで上昇し、2/28 以来の高値を付けた。一方、欧米の株価が大きく下落したこともあり、クロス円は上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。